

外機密

(13)

1383

電信寫

1/a

宛 野村 一〇三七五 (東京)

本 野村 四月十七日發
野村 十八日接

近衛外務大臣

第二三七號 (極秘、館長符號發)

國務長官ハ極メテ安心深ク自分ノ意見トシテ決ルルコトニハ極力
 審成シツツアルカ十六日閣議ノ間ニ左ノ如キ語シモアリタリ
 一、蘇聯邦ハ依然トシテ自ラ戰爭ニ介入セス他國ヲシテ戰ハシムル
 方針ヲ欲ルモノト認メ日蘇條約ニ對シ此ノ觀點ヨリモ見ツツア
 ルモノト認ム

二、日米戰爭ハ歐洲戰爭ヲ擴大セシメ遠ニハ文明ノ衰滅トナルト云
 フ點松岡外相ト同様ノ意見ヲ有ツモノト認ム (但シ中間ニハ此

1383

外務省

近衛外務大臣
 第二三九號ノ一(大至急、館長符號後、外機密)
 往電第二三五號後段ニ關シ
 了解案逐條説明左ノ通
 (一)日米兩國ノ抱懐スル國際觀念及國家觀念
 本項ノ趣旨トスル所ハ米國側カ日本ノ「トータリタリアニズム」化ヲ恐レ居リ日本ニシテ「トータリタリアニズム」化スルニ於
 テハ日米間ニハ最早話合ハ不可能ナリトノ建前ヲ取り居ルヲ以
 テ日本ノ抱懐スル觀念ハ「トータリタリアニズム」ニ非ス「コ

昭和 一〇西〇四 (期)
 本署 四月十八日 夜若
 對村大使

91a (cont.)

1383

ノ照先ヲ以テ日本ヲヤツツケルヘシト他受モナイ論モアリ海軍
 士官ニモ可成在ルコト確實ナリ)
 ミ「ヒツトラー」ノ武力征服ハ一時成功シテモ總テ各國民ハ國民
 スルニ至ルヘク又大胆ハ征服シ得テモ七ノ海ハ彼ノ力ヲ以テシ
 テ如何ニモナラスト見ツツアリ
 因米國ハ只今ハ對英極力援助ト國防充實ノミヲ才願目ト爲シツツ
 アルモ米政府ハ戰後ノ世界再建ノ實情ハ國內實情ヲモ含ム「ア
 誠リツツアルコト確實ナリ(了)